



学校教育目標「自ら学び、心豊かでたくましい方県の子」

方県小だより

令和7年12月10日(水)

◇いのちを ふるさとを 心から大切に思う
～「命を守る学習」～ ～「桜の植樹式」～



11月15日、方県の皆さまのお姿やお言葉、関係機関の皆さまのご支援のおかげで、「いのちを・ふるさとを大切に思うこと」を深く学ぶことができました。

《子どもたちの感想の一部より》

「地域みなさんに、自分の地区で災害の危険のあるところを教えてくださいました。『堤防が低いから洪水の危険がある』『橋が古いからくずれるかも』などと教えてくださいました。自分の地域のことをもっと知りたいと思いました。」「地域みなさんは、いろんなことをたくさん知ってみえてすごいと思ったし、やさしく、一生けん命教えてくださいました、うれしかったです。」

「災害のときのトイレを初めて見ました。当たり前だと思っていたことが、(災害のあとは)ちがうことが他にもきっとたくさんあるんだと考えました。正直、今のトイレのほうがいいなと思ってしまいました。」「けむり体験を実際にやってみて、前が真っ白でぜんぜん見えなかったし、家だと、かべがあったり、物が落ちたりするかもしれないし、もっと混乱すると思うからこわいなと思いました。なにが起るかわからないので、備えが大事だと思いました。」「消火器の『ピノキオ』は覚えやすく、家族に伝えました。また、家で非常食について、家族で考えました。」「お話を聞いて、たなが倒れてきた場合のことを家族で考えました。金具をつけたほうがいいと思いました。」「今日、ぼうさいのことをたくさん教えてくださってありがとうございます。」

「命を守る学習」の実施までに、子どもたちにとってよりよい活動になるように、何度も話を重ねていただき、準備を整えていただいたおかげで、実感を伴った深い学びの機会となりました。本当にありがとうございました。

「桜の植樹式」では、ふるさとを愛し続ける気持ちを教えていただきました。毎朝、桜の様子を見てから教室に行く姿があります。雪が降った日は、桜が寒さに耐えていけるのかを心配している姿もありました。これからも、子どもたちは、桜を大切に見つめ続けていくと思います。

「命を守る学習」においても「桜の植樹」においても、時代が変わっても揺るがない大切なことを学ぶことができました。方県の皆さまの愛を実感しました。本当にありがとうございました。

◇方県の地区から、地域の方々から学ぶ

11月18日、6年生は、サンライフ彦坂の皆さまに、施設内をご紹介いただいたり、お仕事の時にどんなことを大切にしてみえるかについて詳しく教えていただいたりしました。子どもたちは、総合的な学習の時間に、高齢者の方々のお身体の状態等を調べ、さらにその暮らしを支援する仕組みや人々についてさらに学びたいという気持ちで、当日の見学に臨みました。「どの階のみなさんの姿を見ても、本当に心がほっこりするな。」とつぶやく子がいました。そ

の言葉や真剣に見学に取り組む姿に、胸がいっぱいになりました。



2年生は、生活科の学習で、11月19日にJAぎふふれあいプラザの皆さま、12月8日に棚橋ファームの皆さまに、様々なお話や体験を通して、それぞれのお仕事の内容などを教えていただきました。地域でお仕事をしてみえる方々について知り、自分たちの生活との関わりを考えながら一生懸命に見学をすることができています。「すごいな。」「はじめて知った。」と、心をいっぱい働かせて学んでいくことがいきました。

どの見学場所でも、温かく子どもたちを迎えてくださり、子どもたちのために、心をこめてお話をしてくださること、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

◇山川醸造場・水の資料館の見学(3年生)

11月25日、3年生は、社会科や総合的な学習の時間での学びをもとに、水の資料館や山川醸造場の見学を行いました。

水の資料館では、水道の歴史や仕組みなどを学びました。山川醸造場では、大豆がどのように「たまり」になっていくかを詳しく教えていただきました。大きな樽など実物を見て驚き、「たまり」になるまでの過程に、様々な工夫や努力があることを知りました。



3年生は、11月に、自分たちで育てた大豆を収穫しました。この見学での学びが、次の活動に生かされていくことと思います。



◇美濃和紙の里会館 うだつのあがる町なみの見学(4年生)

11月21日、4年生は、社会科の学習で調べたことをもとに、美濃和紙の里会館やうだつのあがる町なみの見学をしました。紙漉き体験を一人ずつ行い、丁寧に和紙が作り上がることを実感しました。うだつのあがる町なみでは、じっくり散策しながら、美濃和紙を中心にした町づくりを行ったこの地域の人々の工夫や思いを知ることができました。実際に体験したり、直接見て調べたりすることが、新たな気付きや深い考えにつながっていくと感じました。



◇3校つながるプロジェクト(対面での学習)

3校での本プロジェクトでは、朝の会や教科等の授業をオンラインでつなぎ、交流や学習を進めています。現在は、本年度2回目の対面交流が学年ごとに進んでいます。5年生では、音楽や英語と一緒に学び、他校の仲間の考え方に感心してうなずいたり、考えがさらに深まるように付け加えて発言したり、歌声や発言に拍手をおくったりするなどの姿がたくさんありました。

3校の仲間と学ぶ楽しさや喜びを味わっていけるように、これからも取り組みの在り方を考えていきたいと思います。

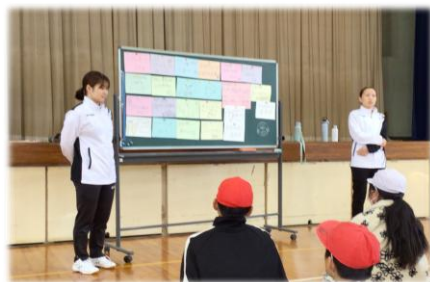


◇学びを様々な学年に広げ、共に学びを楽しむ

1年生は、生活科で秋見つけを行い、まつぼっくりやくりなどの秋のたからものを生かして、工夫いっぱいのけん玉やこまなどをつくりました。それらを他の学年の仲間を紹介し、一緒に思いっきり楽しく遊びました。2年生以上は、おもちゃづくりの経験を生かして遊び方の工夫をやさしくアドバイスしたり、1年生の工夫をいっぱいの作品に感心したりする姿がありました。学びが広がり、仲間と共に取り組むことで、さらに楽しく充実した学びになりました。



◇夢をもち、それに向かって努力する尊さ



12月9日、ぎふBluvicの小西選手と吉川選手に「夢をもち、努力する尊さ」についてご講演いただきました。4～6年生は、それぞれの選手が苦しい状況があっても、夢に向かって努力した過程から学ぶことができました。



プロのバドミントン選手のスマッシュの速さに驚きながらも、なんとか打ち返そうとする姿はたくましく、ほほえましかったです。努力の積み重ねがあってこそこのプレーであることを知り、自分のこれからの歩みと重ねて考えることができた時間でした。

◇保護者・地域の皆さまへのお知らせ 《太鼓クラブの発表会のご案内》

4～6年生のクラブ活動の時間では、異学年の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求する集団活動で、自主的・実践的に取り組むことを通して、個性の伸長を図っています。

太鼓クラブでは、講師の皆さまに温かくご指導いただきながら、一生懸命練習を重ねてきました。太鼓クラブの皆さんによる発表会を以下のように開催します。ぜひ、子どもたちの精一杯取り組む姿を見届け、応援していただけるとありがたいです。

○日時：令和7年12月22日（月）8時20分～（発表会開始） 8:35頃終了予定

○場所：方県小学校 体育館

《観劇のご案内》

先月の「方県小だより」でもお伝えしましたが、青少年市民育成会議さまのご支援をいただき、劇団風の子による「ギャングエイジ」という演劇の鑑賞会を以下のように開催する予定です。

○日時：令和7年12月15日（月）10時20分（入場開始） 10時30分～11時15分（観劇）

○場所：方県小学校 体育館

《親子で学び合おう・体験しよう 方県小学校キャリア教育（土曜授業）のご案内》

後日、別紙にて、詳細をお伝えいたします。まずもって、日程等の概要をお伝えします。

ねらい： 地域在住・在勤の講師の方々に、職業観、生き方、子どもたちに伝えたいこととお話いただき、将来にあこがれをもったり、今を大切に生きようと考えたりすることができる。

青少年育成市民会議による「三世代交流 豆うつし大会」を通して、三世代のふれあいを深める。

日時：令和8年1月24日（土）通常通り登校 ～11:30下校予定

内容：第1部 地域講師の方々による職業講話 第2部 三世代交流「豆うつし大会」

★★★上記のそれぞれのご案内については、天候や児童の体調の状況等の関係で、延期・中止とさせていただく場合があります。その際は、スマート連絡帳及び学校ホームページでお伝えさせていただきます。そちらでご確認いただきますようお願いいたします。★★★